

2010年日本地域福祉学会 第24回新潟大会 プログラム

大会総合テーマ

「地域福祉実践の新局面
—地域を基盤としたソーシャルワークへの新たな期待と展望—」

会期・会場

2010年6月12日（土）敬和学園大学キャンパス パーム館（新発田市）
13日（日）敬和学園大学キャンパス（新発田市）

日本地域福祉学会

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8 森山ビル西館401
<http://www.soc.nii.ac.jp/jracd/>

第24回新潟大会実行委員会

〒957-8585 新潟県新発田市富塚1270番地
敬和学園大学ボランティアセンター内
jracd24th@keiwa-c.ac.jp
<http://www.keiwa-c.ac.jp/jracd24th/>

大会趣旨

1990年代以降、日本社会は、地震や集中豪雨をはじめとする大規模な自然災害、「限界集落」という生活圏の崩壊現象の出現など、地域社会の存続を困難にする様々な社会問題に直面してきています。また、市町村合併の推進によって、多くの地域ではそれまで構築してきた地域社会・地域福祉システムを再構築する必要に迫られています。合併を機に地域自治区を設置するなど、新たな地域自治・住民自治の形成に取り組んでいる地域もみられますが、なかには合併による疲弊から再生の方向が見出せずにいる地域も存在しています。

こうした地域社会を取り巻く環境の変化は、地域福祉実践に新たな課題を提起しています。すなわち、様々な要因によって崩壊の危機にある地域社会を再生し持続させるための政策論・方法論を見出し、実践することが求められているといえます。地域福祉がこうした社会の要請に応えるためには、地域自治・住民自治の形成という課題に正面から向き合い、一方では持続可能な地域社会にしていくための新たなソーシャルワーク実践の開発が必要となります。

これらの流れは社会福祉士養成カリキュラム改革にも反映されています。カリキュラム改革では、従来のソーシャルワークの3分類のような領域から脱し、統合理論中心の地域を基盤としたソーシャルワークが改めて問われることであるといえます。このような地域を基盤としたソーシャルワークを実践できる人材を地方自治体でどのように養成・育成していくかは地域福祉の重要な課題です。

新潟ではこれまで度重なる自然災害にも屈せず、その復興の道のりを力強く示してくれました。その原動力には新潟地域独自の忍耐力と助け合い精神が歴史的・文化的に根強く生きてきた証であります。最近では、少子高齢社会における災害復興とソーシャルワーク実践の新しい展開も見えてきています。

大会では、このような社会福祉の時代的背景を鑑みながら、新潟の歴史的・文化的土壌の上で、戦後日本におけるソーシャルワーク研究と実践のあり方を改めて検証しつつ、地域福祉の新時代に見合ったソーシャルワークの研究と実践の新しい地平を切り拓いていきます。

主 催

日本地域福祉学会・日本地域福祉学会第24回新潟大会実行委員会

共 催

新潟県社会福祉協議会・新潟市社会福祉協議会・新発田市社会福祉協議会・聖籠町社会福祉協議会
胎内市社会福祉協議会・敬和学園大学

後 援

新潟県・新潟市・新発田市・聖籠町・新潟県社会福祉士会・新潟県介護福祉士会・新潟県精神保健福祉士協会・新潟県医療ソーシャルワーカー協会・新潟県民生委員児童委員協議会・新潟県老人福祉施設協議会・新潟県知的障害者福祉協会・新潟県身体障害者施設協議会・新潟県精神障害者社会復帰施設協議会・新潟県老人クラブ連合会・新潟県手をつなぐ育成会・新潟県精神障害者家族会連合会・新潟県身体障害者団体連合会・認知症の人と家族の会新潟県支部・新潟NPO協会・中越復興市民会議・にいがた災害ボランティアネットワーク・新潟県ボランティア連絡協議会・新潟県内社協職員連絡会・新潟日報社・朝日新聞新潟総局・毎日新聞新潟支局・読売新聞新潟支局・産経新聞新潟支局・日本経済新聞社新潟支局・NHK新潟放送局・BSN新潟放送・NST・TeNYテレビ新潟・UX新潟テレビ21・新潟大学・新潟県立大学・新潟医療福祉大学・新潟青陵大学

日程

6月12日（土） 敬和学園大学キャンパス パーム館

9:00	10:00	11:00	12:30	13:30	16:00	16:10	17:10	17:30	19:30
受付	開会式	地域福祉優秀実践賞授賞式	基調講演	昼食・休憩	シンポジウム	休憩	学会総会	移動	情報交流会

敬和学園大学キャンパス パーム館

9:00～	受付（ピロティ）
10:00～11:00	開会式・地域福祉優秀実践賞授賞式
11:00～12:30	基調講演
13:30～16:00	シンポジウム
16:10～17:10	学会総会（S31教室）
17:30～19:30	情報交流会

6月13日（日） 敬和学園大学キャンパス

9:00	9:30	12:00	13:00	15:30	15:45	16:00
受付	自由研究発表	昼食・休憩	全国 地方部会 総会	自由研究発表	閉 会 式	
	学会研究 プロジェクト報告			新潟シンポジウム		
	地域福祉優秀実践賞報告			特別分科会 地域福祉実践研究		

敬和学園大学キャンパス

9:00～	受付
9:30～12:00 / 13:00～15:30	自由研究発表 P6～9参照
9:30～12:00	学会研究プロジェクト報告 S24教室
9:30～12:00	地域福祉優秀実践賞報告 S31教室
12:00～13:00	全国地方部会総会 E21教室
13:00～15:30	新潟シンポジウム S31教室
13:00～15:30	特別分科会地域福祉実践研究 S24教室
15:45～16:00	閉会式 S31教室

被災者支援は、「被災者主体」、「地元主体」の重要性が叫ばれている。我々福祉職は目の前の事象に対する単なる対応ではなく、支援者が被災地に対し適応する視点が必要となる。災害直後の非日常下の場面、そして復興への息の長いステージを視野に入れ、それぞれにおいて求められるコミュニティソーシャルワーク像とはどのようなものなのか。

被災地元機関と外部機関、専門家と被災地住民、そしてボランティアが相互に被災者・被災地のエンパワーメントを重視した支援活動を構築するために、我々が行うべき責務について考察する。

コーディネーター：本間 和也（長岡市社会福祉協議会本部事務局地域福祉課長）

シンポジスト：桑原 英文（国際協力NGO JPCOM代表、

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議委員）

井上 洋（勸山の暮らし再生機構山古志サテライト

主任復興支援員）

大島 隆代（法政大学現代福祉学部 実習指導講師）

岡部 正文（柏崎市茨内地域生活支援センター施設長）

13:00～15:00 S24教室

特別分科会 地域福祉実践研究

「地域福祉実践研究のすすめ -『地域福祉実践研究』の創刊を受けて」

（趣旨）『地域福祉実践研究』の創刊を受けて、雑誌への投稿論文を素材にしながら、実践研究のあり方について、多面的な議論を行う。報告としては、以下の3つを用意している。なお、当日は、『地域福祉実践研究』（創刊号）をご持参ください。

司 会：藤井 博志（神戸学院大学）、平野 隆之（日本福祉大学）

報 告1：石井 信祥（全国社会福祉協議会）

コメント：佐藤 寿一（宝塚市社会福祉協議会）

報 告2：所 正文（堺市社会福祉協議会）

コメント：松端 克文（桃山学院大学）

報 告3：平坂 義則（名古屋市社会福祉協議会）

報 告4：谷口 郁美（滋賀県社会福祉協議会）

コメント：渋谷 篤男（全国社会福祉協議会）

15:45～16:00 S31教室

閉会式

第2日目 6月13日(日) 敬和学園大学キャンパス

9:30~12:00/13:00~15:30

自由研究発表(口頭発表・ポスター発表)

9:30~12:00 S24教室

学会研究プロジェクト報告

「地域におけるセーフティネット構築のための拠点形成とソーシャルワーク～日中韓比較研究」
(趣旨) 少子高齢社会の到来という共通の課題に直面するなかで、日中韓では地域におけるセーフティネットの構築とそのため「拠点形成」、ソーシャルワーク実践が求められている。本シンポジウムでは、それらについて3カ国における現状と課題を共有し、今後ますます重要になるとと思われる「地域での支えあい」を展開するための視点と実践方法について、討議したい。

コーディネーター：野口 定久(日本福祉大学)

シンポジスト：劉 継同(北京大学)、于 燕燕(北京社会科学院)

戚 世南(江南総合社会福祉館) 柴田 謙治(金城学院大学)

9:30~12:00 S31教室

地域福祉優秀実践賞報告

・社会福祉法人宝塚市社会福祉協議会

・特定非営利活動法人地域福祉サポートちた

司 会：日本地域福祉学会事務局次長 和気 康太(明治学院大学)

コメンテーター：日本地域福祉学会副会長 上野谷加代子(同志社大学)

12:00~13:00 E21教室

全国地方部会総会(地方部会員対象)

12:00~13:00 N32教室

全光玄・韓国地域社会福祉学会会長と語る会(全会長と韓国からの留学生との交流会)

13:00~15:30 S31教室

新潟シンポジウム

「災害支援における福祉専門職の責務を探る」

～非日常下でのコミュニティソーシャルワークは機能するのか～

(趣旨) 近年、日本の各地において自然災害が多発しており、特に新潟県においては幾たびかの大規模の災害に見舞われた。

災害は被災地それぞれに都市基盤や住民の気質等すべてに相違があるため、どれをとっても全く同じものなど存在しない。しかし、中小の地方都市が大部分を占めるわが国においては、今後の被災者支援、地域復興支援を考えた場合、新潟県の経験をもととして更なる方策を追求していくことが望まれる。

被災者支援は、「被災者主体」、「地元主体」の重要性が叫ばれている。我々福祉職は目の前の事象に対する単なる対応ではなく、支援者が被災地に対し適応する視点が必要となる。災害直後の非日常下の場面、そして復興への息の長いステージを視野に入れ、それぞれにおいて求められるコミュニティソーシャルワーク像とはどのようなものなのか。

被災地元機関と外部機関、専門家と被災地住民、そしてボランティアが相互に被災者・被災地のエンパワーメントを重視した支援活動を構築するために、我々が行うべき責務について考察する。

コーディネーター：本間 和也（長岡市社会福祉協議会本部事務局地域福祉課長）

シンポジスト：桑原 英文（国際協力NGO JPCOM代表、

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議委員）

井上 洋（勸山の暮らし再生機構山古志サテライト

主任復興支援員）

大島 隆代（法政大学現代福祉学部 実習指導講師）

岡部 正文（柏崎市茨内地域生活支援センター施設長）

13:00～15:00 S24教室

特別分科会 地域福祉実践研究

「地域福祉実践研究のすすめ -『地域福祉実践研究』の創刊を受けて」

（趣旨）『地域福祉実践研究』の創刊を受けて、雑誌への投稿論文を素材にしながら、実践研究のあり方について、多面的な議論を行う。報告としては、以下の3つを用意している。なお、当日は、『地域福祉実践研究』（創刊号）をご持参ください。

司 会：藤井 博志（神戸学院大学）、平野 隆之（日本福祉大学）

報 告1：石井 信祥（全国社会福祉協議会）

コメント：佐藤 寿一（宝塚市社会福祉協議会）

報 告2：所 正文（堺市社会福祉協議会）

コメント：松端 克文（桃山学院大学）

報 告3：谷口 郁美（滋賀県社協）

コメント：渋谷 篤男（全国社会福祉協議会）

15:45～16:00 S31教室

閉会式

自由研究発表会場／発表者一覧

分科会	教室番号	時間帯	第1報告	第2報告	第3報告	第4報告	第5報告
1	S21	午前	山崎ハコネ	三好 禎之	在町 香月	岡本 栄一	小野 達也
2	E22	午前	徐 明仿	樫原 朗	仁科 伸子	上野山裕士	
3	S21	午後	石川 陽一	斉藤 雅茂	田邊 寿	陳 燕	松井 圭三
4-1	S23	午前	中罵 洋	日向 智信	奥村 昭	蒔田 勝義	仲島 徳巳
4-2	S23	午後	荻野起与子	吉成 亘弘	青山 良子	岩本 裕子	森脇 俊二
4-3	E23	午前	岩満 賢次	金田 喜弘	竹川 俊夫	若倉 健	
4-4	E23	午後	一見 俊介	大野 真鯉	本郷 秀和	樋野 都子	佐藤 桃子
5-1	S32	午前	坪井 七夫	松永千恵子	久保美由紀	林 孝之	
5-2	S32	午後	小林 明子	古寺久仁子	中井 久子	李 在穂	
6・7-1	E24	午前	埜下 昌宏	平野 友康	乾 光哉	川島 典子	守本 友美
7-2	E24	午後	杉岡 直人	大西 良	渡邊 敏文	茂 大祐	
7-3	E32	午前	田中 尚	藤島 法仁	衣笠 一茂	堤添 隆弘	名賀 享
8-1	E32	午後	大口 達也	岸 千代	高藤 真弓	松崎吉之助	
8-2	E33	午前	川島ゆり子	守屋 紀雄	安井 豊子	酒井久美子	
8-3・9	E33	午後	渡邊 静穂	平野 幸子	横山 純一	蘇 瑞萍	
10	E34	午前	山上 裕子	加納 佑一	篠本 耕二	森川 美絵	板東美智子
11-1	N21	午前	守屋 真季	新崎 国広	藤原 慶二	趙 晤衍	
11-2	N21	午後	岡田 哲郎	占部 尊士	横川 剛毅	村岡 則子	
13	E34	午後	羅 泯京	永野 典詞	菊地 月香	野村 恭代	片山 宣博
ポスター	N31	午前/午後	石井 栄子	吉田 眞理	勅使河原隆行		

*分科会番号の枝番号は、演題募集の際にお示しいたしました枝番号と若干の違いがありますことをご了承下さい。

*教室番号につきまして：S=新発田館・E=栄光館・N=ニューエル館を示しています。二桁番号の10の位は、階数を示しています。(例：N31は、ニューエル館3階31号教室)

第1分科会 理論・歴史 S21教室 午前			
9:30	関東大震災救援における賀川豊彦のセツルメント思想と本所基督教産業青年会の展開 -救援活動地「本所区松倉町二ノ六二番地」・興望館との関連について-	敬和学園大学	山崎ハコネ
10:00	戦後社会における社会福祉専門職の形成過程 -社会福祉専門職に関する先行研究の概観-	日本福祉大学大学院	三好 禎之
10:30	「ボランティア・市民活動」、「地縁組織」、「社会福祉協議会」の関係性の変遷に関する研究 -「月刊福祉」で取り扱われたボランティア・市民活動事例から-	大阪市東淀川区社会福祉協議会	在町 香月
11:00	「地域社会関係」の実態概念化について -「なぎさ論」の地域福祉論への接近の試み-	ボランティアリズム研究所	岡本 栄一
11:30	「生活世界からの地域福祉論」構築のための理論的枠組みの検討	大阪府立大学	小野 達也

第2分科会 海外・比較 E22教室 午前			
9:30	台湾の介護保険法草案の課題と対策に関する一考察	八戸工業大学	徐 明仿
10:00	イギリス新労働党の児童ケア政策	神戸学院大学	櫻原 朗
10:30	米国の近隣地域を基盤とした地域福祉活動 -連携する地域組織-	法政大学大学院 人間福祉研究科博士後期課程	仁科 伸子
11:00	小地域におけるまちづくりに関する研究 -スウェーデン・ヴェクショー市まちづくりカフェPanncentralenによるまちづくりの事例から-	大阪大学大学院	上野山裕士

第3分科会 関連制度・政策 S21教室 午後			
13:00	日本一高齢化の群馬県南牧村における限界集落再生への方途 ~その1 問題の所在と研究の方法・中間調査の結果~	株式会社生活構造研究所	石川 陽一
13:30	中山間地域における介護サービスの利用変化類型と地域特性との関連	日本福祉大学 地域ケア研究推進センター	斉藤 雅茂
14:00	「地域福祉あんしん保証推進プロジェクト」の意義と展開 -地域で「保証機能」を担うしくみづくり-	伊賀市社会福祉協議会	田邊 寿
14:30	サービス提供責任者の就業環境と業務内容についての分析	立教大学大学院コミュニティ 福祉学研究科博士後期課程	陳 燕
15:00	障害者自立支援法政策の一考察 -旧与党の政策を中心に-	中国短期大学	松井 圭三

第4-1分科会 活動・提供組織<社会福祉協議会>(その1) S23教室 午前			
9:30	昭和30年代の長野県下のホームヘルプ事業の活動分析 -その事業内容と活動成果の検証-	帝京平成大学	中島 洋
10:00	三重県における生活福祉資金の取り組みについての研究 その1	鈴鹿医療科学大学	蒔田 勝義
10:30	三重県における生活福祉資金の取り組みについての研究 その2	三重県社会福祉協議会	日向 智信
11:00	滋賀県社会福祉協議会における市町社会福祉協議会支援の視点と方法 -質的な転換点における考察-	滋賀県社会福祉協議会	奥村 昭
11:30	「市町村社協における事業評価」に関する考察 -奈良市で実施された事業仕分けの事例を通じて-	奈良市社会福祉協議会	仲島 徳巳

第4-2分科会 活動・提供組織<社会福祉協議会>(その2) S23教室 午後			
13:00	地域包括ケアにおける社会福祉協議会の役割に関する考察	立教大学大学院修士	荻野起与子
13:30	コミュニティワーカーとしての専門性を生かしたチームアプローチによる利用者支援 ~「地域生活支援システム」導入後の効果についての検証~	東海村社会福祉協議会	吉成 亘弘
14:00	小地域の福祉活動継続の要因についての一考察	敬和学園大学	青山 良子
14:30	社協型ボランティアセンターとNPO型ボランティアセンターの関係から見た両組織の発展プロセス ~A市の事例から~	関西学院大学	岩本 裕子
15:00	地域福祉を推進する機関としての体制整備に関する一考察 -水見市社会福祉協議会における事務局職員が地域エリア担当制がもたらす効果について-	水見市社会福祉協議会	森脇 俊二

第4-3分科会 活動・提供組織<その他の活動・提供団体> E23教室 午前			
9:30	住民参加に影響を与える要因に関する研究	聖カタリナ大学	岩満 賢次
10:00	京都市北区小野郷地域における地域福祉のまちづくりの展開プロセス -大学・行政・社協・住民による協働的取り組み-	佛教大学	金田 喜弘
10:30	過疎中山間地域における独居高齢者への地域生活継続支援のあり方に関する考察	鳥取大学	竹川 俊夫
11:00	地域における権利擁護の実践を推進して行くために ~成年後見制度活用を中心に~	国際医療福祉大学	若倉 健

第4-4分科会 活動・提供組織<ボランティア団体・NPO><その他の活動・提供団体> E23教室 午後			
13:00	伊賀地域のニート・引きこもりの実態について	伊賀市社会福祉協議会	一見 俊介
13:30	町内会・自治会と福祉系NPOの連結に関する質的研究 -地域リーダーの役割に焦点をあてて-	大阪市天王寺区 社会福祉協議会	大野 真穂
14:00	制度外サービス・社会福祉士の配置からみた介護系NPOの現状 -2009年度全国調査結果からみたNPOソーシャルワークの課題と実践-	福岡県立大学	本郷 秀和
14:30	スウェーデンにおける多文化共生の取り組みに関する研究 -在住外国人および移民の関連団体へのインタビュー調査から-	大阪大学	樋野 都子
15:00	デンマークの保育サービスにおける利用者参加の仕組みに関する研究	大阪大学	佐藤 桃子
第5-1分科会 対象・対象者(その1) S32教室 午前			
9:30	医療的ケアに係る法的な問題と必要とされる支援についての考察	東洋大学大学院	坪井 七夫
10:00	地域で生活する高齢視覚障害者の現状と課題 -T県におけるインタビュー調査の結果-	国際医療福祉大学	松永千恵子
10:30	配食サービス利用者の生活実態調査結果を踏まえた高齢者の食を通じた地域生活支援の現状と課題	会津大学短期大学部	久保美由紀
11:00	一人暮らし高齢者に対する近隣からのサポート形成 -三世交代事業参加者アンケートから-	札幌市厚別区介護者センターもみじ台 社会福祉士・北星学園大学大学院 社会福祉学研究科博士後期課程	林 孝之
第5-2分科会 対象・対象者(その2) S32教室 午後			
13:00	医療ニーズの高い重度障害のある人のケア内容を決定する要因 -在宅人工呼吸器療法を19年間実施した難病ALS患者のケア態勢の分析から-	福井県立大学	小林 明子
13:30	肢体不自由児通園施設に通う子どもの養育者が必要と考える支援 -自由回答の質的分析から-	東京都立多摩療育園	古寺久仁子
14:00	在日フィリピン人介護士の実態調査	大阪人間科学大学	中井 久子
14:30	「元気高齢者」の社会参加と地域生活に関する研究 -新潟市中央区「老人憩いの家」利用者調査結果から-	新潟青陵大学	李 在徳
第6分科会 地域福祉計画、第7-1分科会 地域福祉の諸活動<ボランティア活動> E24教室 午前			
9:30	地域福祉計画における住民参加を促進するコミュニティワークと校区の機能に関する研究	宝塚市社会福祉協議会	埜下 昌宏
10:00	地域福祉計画及び地域福祉活動計画の一体的な策定の意義について ~神奈川県内の地域福祉計画及び地域福祉活動計画の調査から~	横須賀市社会福祉協議会	平野 友康
10:30	高参加・高福祉の発想による福祉でまちづくりの実践から見えてきたもの	伊賀市社会福祉協議会	乾 光哉
11:00	介護予防サービスにおけるソーシャル・キャピタル -ボンディングなSCとブリッジングなSCをつなぐソーシャルワーカー-	筑紫女学園大学短期大学部	川島 典子
11:30	社会福祉施設におけるボランティア受け入れの現状と課題 -三重県における調査を通して-	皇學館大学	守本 友美
第7-2分科会 地域福祉の諸活動<サービス活動><その他> E24教室 午後			
13:00	新たな公共の担い手としての支えあいの活動はどのようにして可能か -助け合い組織「ふくろう」の事例分析-	北星学園大学	杉岡 直人
13:30	筑後川流域圏における産学官民協働と地域コミュニティ開発に関する研究 -健康生きがいのあるまちづくり(ゆにばひろば)事業の成果と課題を中心に-	久留米大学	大西 良
14:00	地域における「お茶の間・サロン」活動の役割	新潟医療福祉大学	渡邊 敏文
14:30	集合住宅における住民のつながりとこれから -集会所のサロン活動の発起を事例として-	日本福祉大学	茂 大祐
第7-3分科会 地域福祉の諸活動<ボランティア活動><サービス活動> E32教室 午前			
9:30	地域住民の生活課題に対する行政と住民による協働の検討 ~岩手県釜石市「生活応援センター」の取り組みを通して~	岩手県立大学	田中 尚
10:00	支え合う関係の形成に果たす民生委員の役割 -鹿児島県A市B町を事例に-	久留米大学	藤島 法仁
10:30	「社会貢献事業」を対象としたコミュニティソーシャルワークの効果測定の試み(その1) ~研究の枠組みと定量的分析~	大分大学	衣笠 一茂
11:00	「社会貢献事業」を対象としたコミュニティソーシャルワークの効果測定の試み(その2) ~定性的分析と今後の課題~	大阪府社会福祉協議会	梶添 隆弘
11:30	限界集落における地域福祉の展開 -若者ワークキャンプ運動の試行-	京都ボランティア学習実践 研究会・華頂短期大学	名賀 亨

第8-1分科会 地域福祉の方法（その1） E32教室 午後			
13:00	介護支援専門員と共に行う包括的・継続的ケアマネジメント（1） ～地域包括支援センターの主任介護支援専門員に相談したことがない介護支援専門員の類型化～	立教大学大学院コミュニティ福祉学研究科博士後期課程	大口 達也
13:30	介護支援専門員と共に行う包括的・継続的ケアマネジメント（2） ～地域包括支援センターの主任介護支援専門員への介護支援専門員の相談実態～	武蔵野赤十字 在宅介護支援センター	岸 千代
14:00	多職種連携システム構築におけるソーシャルワーク実践モデルの開発 ～介護支援専門員事例検討会によるマルチコンサルテーションシステム分析から～	社団法人尾北医師会	高藤 真弓
14:30	「地域包括支援センター社会福祉士による成年後見制度申し立て支援に関する研究」 ～独居等認知症高齢者への支援における技術とプロセス～	厚木市総合地域 包括支援センター	松崎吉之助

第8-2分科会 地域福祉の方法（その2） E33教室 午前			
9:30	地域における住民参加を促進するコミュニティワークと校区機能に関する研究 ～コミュニティワーク・地域圏域・小地域住民活動の関連性の検証～	花園大学	川島ゆり子
10:00	社会福祉協議会 コミュニティソーシャルワークの実践と分析 ～堺市社協 地域福祉ねっとワーカーの取り組みから～	堺市社会福祉協議会	守屋 紀雄
10:30	CVA患者の保健医療ソーシャルワーク援助過程の連続性確保に向けて ～M.S.WのCVA地域連携クリティカルパスへの介入の視点から～	敬和学園大学	安井 豊子
11:00	知的障がいのある人たちの地域支援システム構築の必要性 ～犯罪・被害・加害からまもるために～	京都ノートルダム女子大学 大津市権利擁護研究会	酒井久美子

第8-3分科会 地域福祉の方法（その3）、第9分科会 アドミニストレーション E33教室 午後			
13:00	コミュニティワークにおいて音楽を活用することの意義と効果 ～音楽療法士の目線から～	日本福祉大学大学院 社会福祉学研究科研究生	渡邊 静穂
13:30	民間相談機関における地域福祉実践 ～子育て支援に関わるネットワーク形成への取り組み～	明治学院大学 社会学部附属研究所	平野 幸子
14:00	「子どもの貧困」と就学援助制度	北海学園大学法学部政治学科	横山 純一
14:30	福祉におけるサービスサイエンスの可能性に関する研究 ～オントロジーに基づく福祉サービスの特性考察～	中部学院大学大学院 人間福祉学研究科	蘇 瑞洋

第10分科会 地域福祉の問題 E34教室 午前			
9:30	中山間地域における高齢者の生活継続および集落機能の活性化に関する一考察 ～岐阜県山県市美山地域の自治会の事例を通して～	日本福祉大学大学院	山上 裕子
10:00	仮設入居高齢者のつながりの変化とその要因に関する研究 ～新潟県中越沖地震の被災地、刈羽村での調査を手掛かりとして～	東京都社会福祉協議会	加納 佑一
10:30	地域における「医療同意」問題の本質とその対応方法について	笛吹市社会福祉協議会	篠本 耕二
11:00	低所得者へのセーフティネット機能の実態把握 ～総合支援資金貸付の運用に関する全国調査報告（1）～	国立保健医療科学院	森川 美絵
11:30	低所得者へのセーフティネット機能の実態把握 ～総合支援資金貸付の運用に関する全国調査報告（2）～	国立保健医療科学院	阪東美智子

第11-1分科会 福祉教育・人材育成（その1） N21教室 午前			
9:30	介護支援専門員の倫理 ～非倫理的行為と予防策の検討～	特別養護老人ホーム グランデパール	守屋 真季
10:00	『なごさの福祉コミュニティ概念』の福祉教育への援用の可能性 ～施設・学校を基点とした相互往還学習論の探求～	大阪教育大学	新崎 国広
10:30	地域福祉時代における人材養成のあり方について ～“人材養成塾”の試み～	関西福祉大学	藤原 慶二
11:00	生涯学習と福祉教育・ボランティア学習の連携に関する一考察 ～アート生きがいサポート支援事業の活動分析を通して～	敬和学園大学	趙 昭衍

第11-2分科会 福祉教育・人材育成（その2） N21教室 午後			
13:00	A町「地域ケア型実習」における「評価枠組み」構築の試み	立教大学大学院	岡田 哲郎
13:30	福祉専門職養成における実習演習教育のあり方について ～援助規範意識と対象者イメージの関連性から～	長崎ウエスレヤン大学	占部 尊士
14:00	保育士養成課程におけるソーシャルワーク教育のあり方 ～保育所保育士への調査を通して～	和泉短期大学	横川 剛毅
14:30	介護・福祉系学生における理想とする職場の要件 ～介護労働環境からの考察～	久留米大学大学院 比較文化研究科	村岡 剛子

第13分科会 社会福祉等施設 E34教室 午後			
13:00	韓国における高齢者福祉施設と地域福祉推進	同志社大学	羅 取京
13:30	施設ケア実践における支援者の葛藤 ～正しいニーズ認識とその実践の困難性から～	中九州短期大学	永野 典詞
14:00	障害者の地域生活支援システムの構築 ～NPO法人「栃木県障害施設事業協会」の実践より～	社会福祉法人同愛会	菊地 月香
14:30	地域支援の新たな形態 ～一般就労形態を基盤とした就労支援～	大阪大学大学院人間科学 学研究科博士後期課程	野村 恭代
15:00	知的障害者施設が地域と協働することの意義 ～地域福祉推進プロジェクトの実践を通して～	産経新聞 厚生文化事業団	片山 宣博

ポスター発表 N31教室 午前/午後			
10:00	子育てサロンの取り組みから地域連携を考える ～「みどりのへや」の活動を通して～	NPO法人 生活福祉ファクトリー	石井 栄子
11:00	地域子育て支援のあり方 ～「緑の家」と「みどりのへや」～	小田原女子短期大学	吉田 眞理
13:00	社会福祉士の専門性に関する研究 ～日常生活自立支援事業の専門員を中心として～	千葉商科大学	勅使河原隆行

大会参加者へのご案内

1. 学会年次総会

日本地域福祉学会2010年度年次総会を以下により開催します。会員の方は是非ご出席下さい。

日 時：6月12日（土）16:10～17:10

場 所：S31教室

2. 受付

(1) 時間と場所は以下の通りです。

6月12日（土）9:00～20:00 敬和学園大学ピロティ

6月13日（日）9:00～16:00 敬和学園大学ピロティ

(2) 受付方法は次の通りです。

参加券と引き換えに当日の資料と名札をお渡し致します。

大会期間中は、名札を必ずお付け下さい。また、お帰りの際には名札を名札ケースの回収にご協力下さい。

(3) 当日の参加費

会員の事前申し込みの場合の参加費は8,000円ですが、当日申し込みの場合の参加費は以下の通りです。要旨集の代金は2,000円です。

当日参加費

・会 員	2日間	10,000円（要旨集代含む）
・非会員（一般）	1日のみ	4,000円（要旨集は別売り）
	2日間	8,000円（要旨集は別売り）
・非会員（院生）	2日間	4,000円（要旨集は別売り）
・非会員（学部生）	2日間	2,000円（要旨集は別売り）

3. クローク

大会参加者の手荷物を以下の通り一時お預かりいたします。ご利用下さい。

6月12日（土）9:00～20:00 敬和学園大学ピロティ

6月13日（日）9:00～16:00 敬和学園大学ピロティ

4. 自由研究発表（口頭発表）

(1) 発表者で午前の部の方は9:10に、午後の部の方は12:40に各分科会会場にお集まり下さい。

(2) 発表は、予定された順番と時間で行います。欠席や遅刻による調整はいたしません。

(3) 発表時間は30分（質疑応答時間10分を含む）です。厳守して下さい。

(4) 発表時間については、開始から15分で1回、20分で2回、発表終了の30分で3回のベルで合図いたします。

(5) 当日に配布を必要とする資料は、各自50部程度ご用意下さい。事務局での印刷は固くお断りいたします。

(6) 発表機材の使用は、以下の通りお願いいたします。

1) パソコン（パワーポイント）を使用する発表者は、大会事務局で用意するパソコンをお使いいただきます。パソコンの持ち込みは固くお断りいたします。パソコンには、OSとしてWindowsXP、プレゼンテーション用としてPowerPoint2007がインストールされています。ファイルを保存したUSBメモリーを必ずご持参下さい。

- 2) 発表当日は、分科会開始前に、各会場に設置されたパソコンに予めファイルをコピーして下さい。午前の部の方は9:00～9:20に、午後の部の方は12:30～12:50分をお願いいたします。
 - 3) 発表時のパソコン操作は、報告者自身で行って下さい。
 - 4) パソコンの不具合に備えて、スクリーンに投影する発表資料を印刷したものの50部程度を当日ご用意下さい。
- (7) 発表者は、各分科会の終了まで議論に参加していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

5. 書籍展示・販売コーナー

社会福祉関連の出版社による書籍展示・販売が以下の場所で行われます。ご利用下さい。

6月12日(土)・13日(日) 敬和学園大学ピロティ

6. 情報交流会

- ・日 時 6月12日(土) 17:30～19:30
- ・会 場 敬和学園大学パーム館
- ・会場入口で参加券をお渡し下さい。参加券をお忘れにならないよう十分ご注意下さい。
- ・ご参加の皆様には、交流会終了後に会場より新潟駅行きの無料シャトルバスをご用意しております。

7. 昼食・弁当

昼食弁当をお申し込みいただいた方は、パーム館付近で引き換えます。予約注文のみの受付となりますのでご了承下さい。また、引換券をお忘れにならないよう十分ご注意下さい。お弁当の飲食は、両日とも大学の食堂を開放しますのでご利用下さい(食堂営業はしていません)。当日お弁当のご予約でない方には、大学周辺の飲食店をご案内しますので受付にてご確認ください(ただし、会場付近には飲食施設が少ないです)。

8. 施設内での喫煙

敬和学園大学の館内は所定の場所以外はすべて禁煙となっております。指定の喫煙場所での喫煙にご協力をお願いいたします。

9. 変更事項および伝言のお知らせ

プログラムなどの掲載事項に変更が生じた場合は、受付に情報ボードを設置し、掲示いたします。また、緊急の呼び出しなどもこの情報ボードで行います。

10. 会場へのアクセス

バスをお申し込みいただいた方は、バス乗車時にバス券を係員にお渡し下さい。バス券はお忘れにならないよう十分ご注意ください。

【新潟駅前】

有料シャトルバス

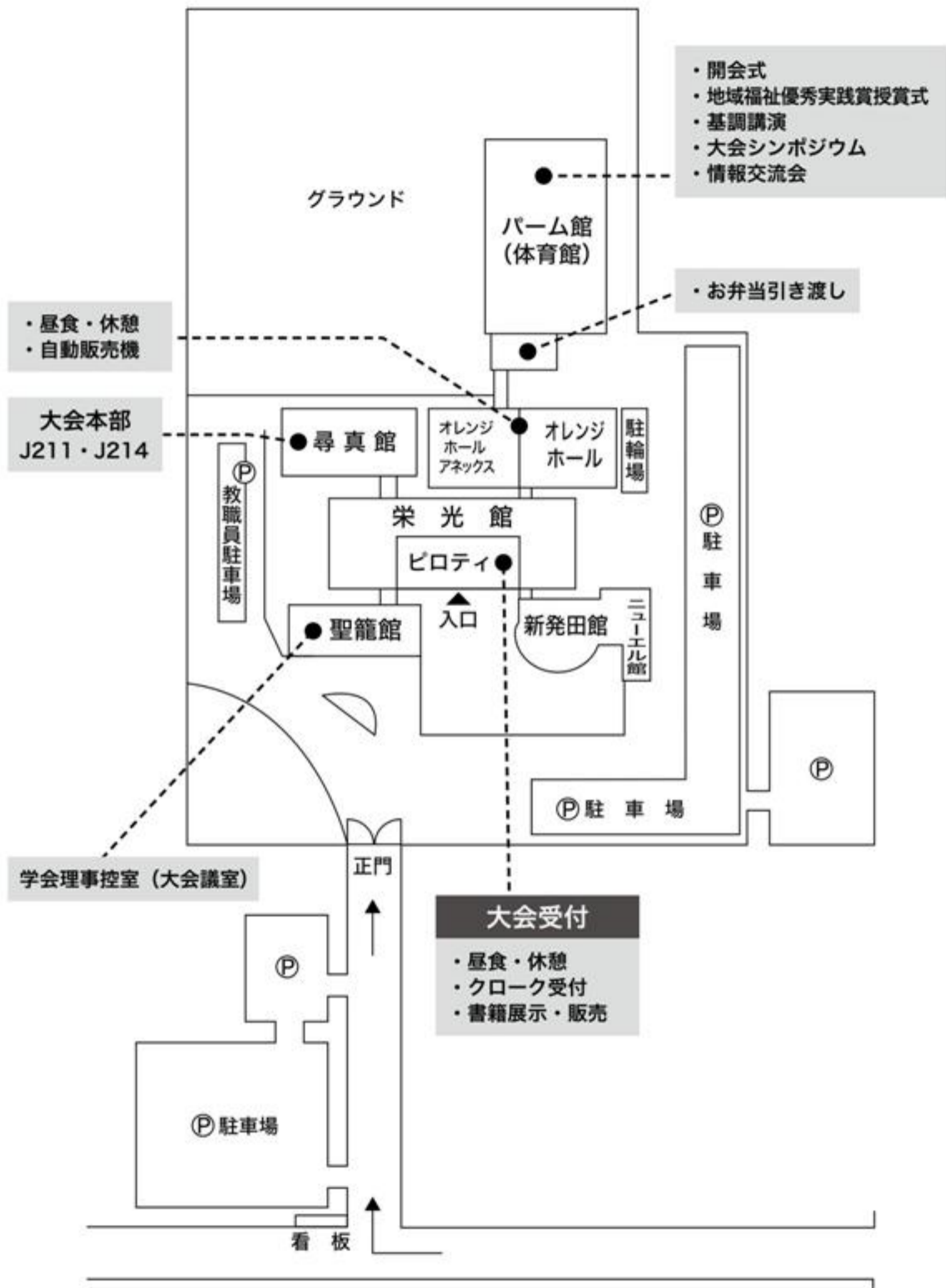
大会期間中、新潟駅・新潟空港～大会会場間に、大会専用の有料シャトルバスを運行いたします。

予約制となりますので、ご利用の方は申込書にご記入下さい。

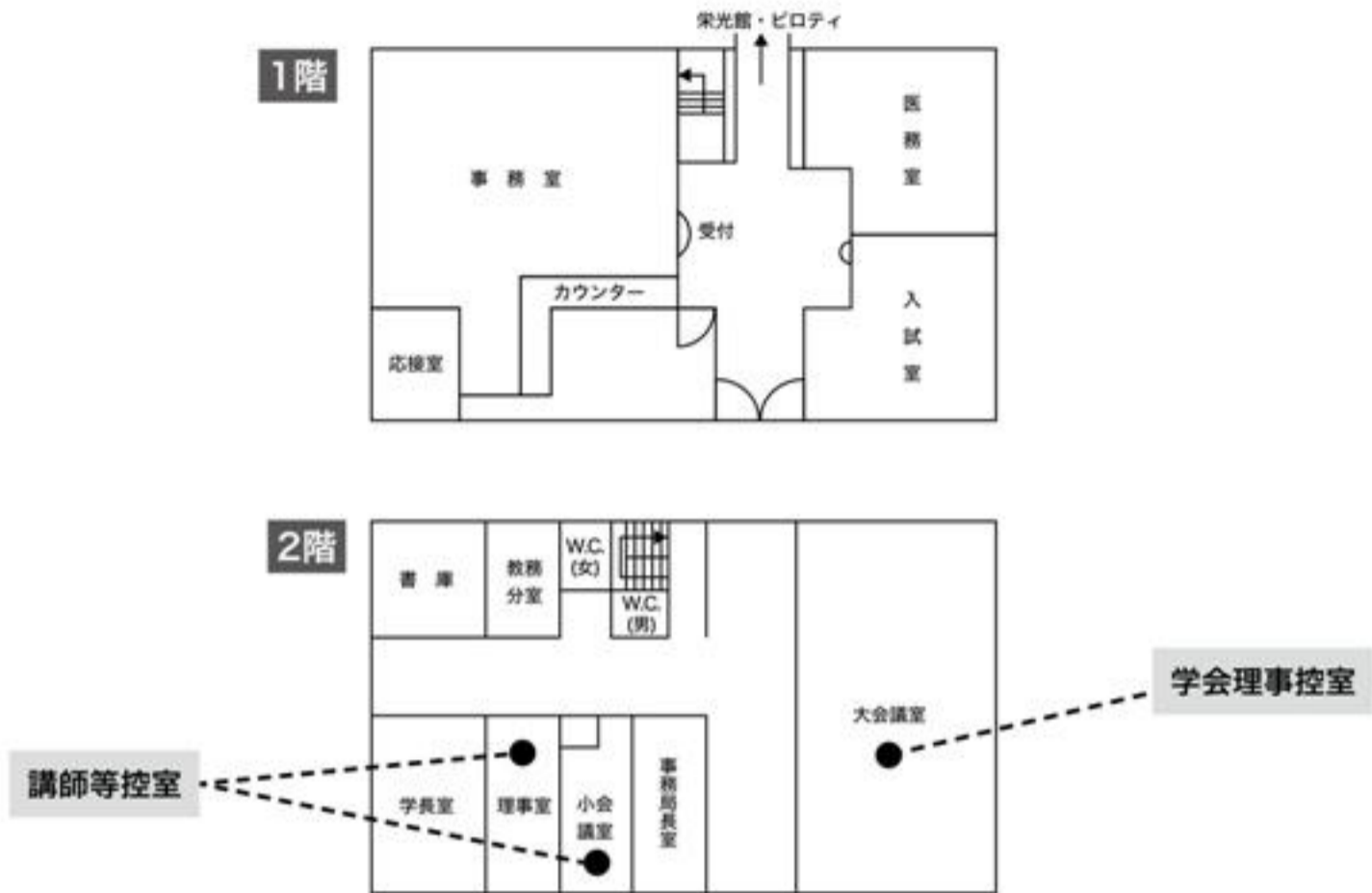
申込記号	区 間	運行時間	料 金
A	J R新潟駅南口 ～新潟空港～敬和学園大学	6/12 新潟駅8:30発～空港9:10発～9:40着	500円
B	J R新潟駅南口 ～敬和学園大学	6/12 9:15発～10:00着	500円
C	敬和学園大学 ～J R新潟駅南口	6/12 17:15発～18:00着	500円
D	J R新潟駅南口 ～敬和学園大学	6/13 8:15発～ 9:00着	500円
E	J R新潟駅南口 ～敬和学園大学	6/13 8:30発～ 9:15着	500円
F	敬和学園大学 ～新潟空港～J R新潟駅南口	6/13 14:50発～空港15:20着～駅16:00着	500円
G	敬和学園大学 ～新潟空港～J R新潟駅南口	6/13 16:15発～空港16:45着～駅17:25着	500円



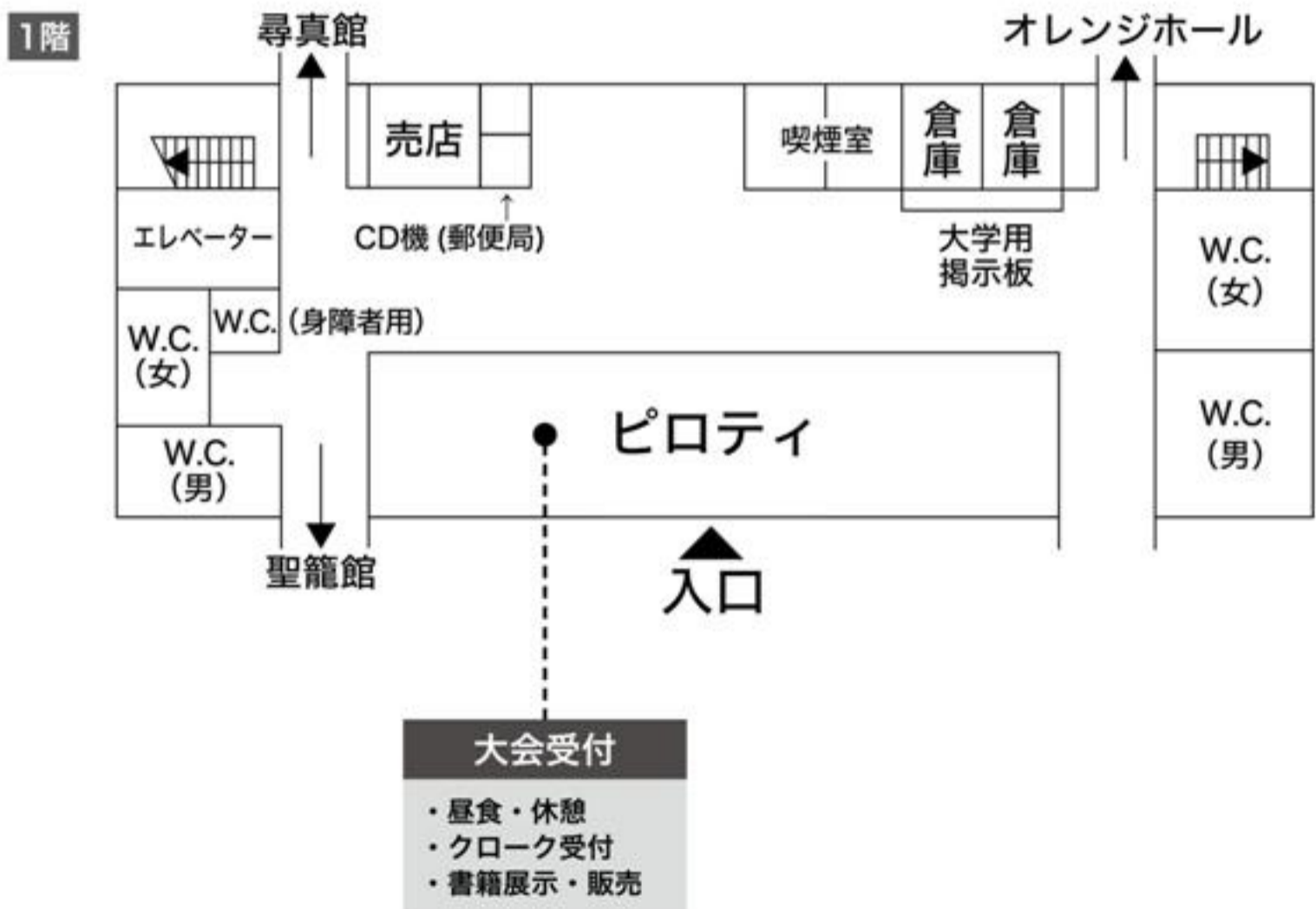
大学構内案内図



聖籠館



栄光館



栄光館

2階



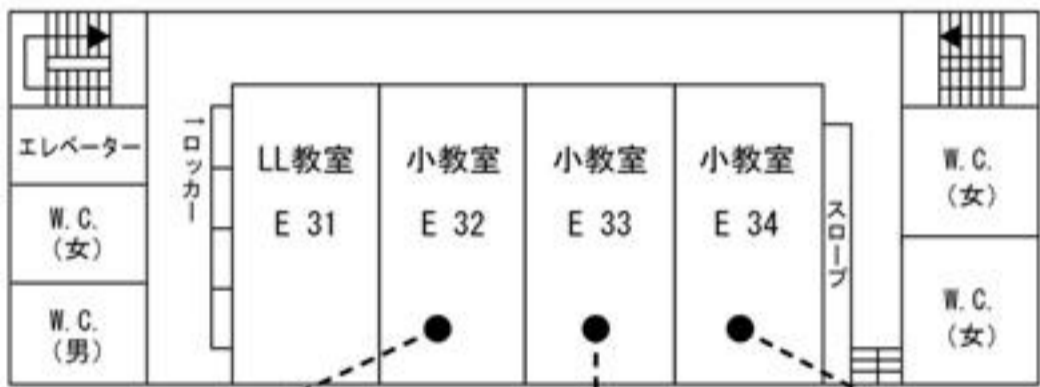
6月13日
お昼
全国地方部会総会

6月13日
午前 第2分科会

6月13日
午前 第4-3分科会 (その他)
午後 第4-4分科会 (その他)

6月13日
午前 第6・第7-1分科会
午後 第7-2分科会

3階

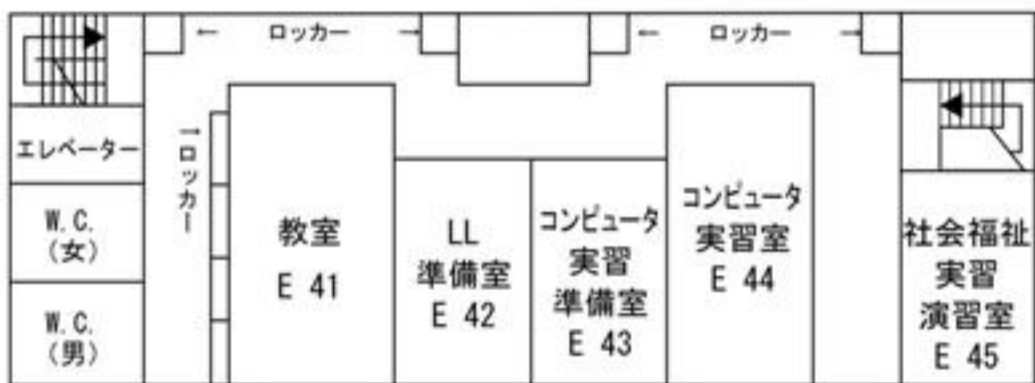


6月13日
午前 第7-3分科会
午後 第8-1分科会 (その1)

6月13日
午前 第8-2分科会 (その2)
午後 第8-3 (その3)・第9分科会

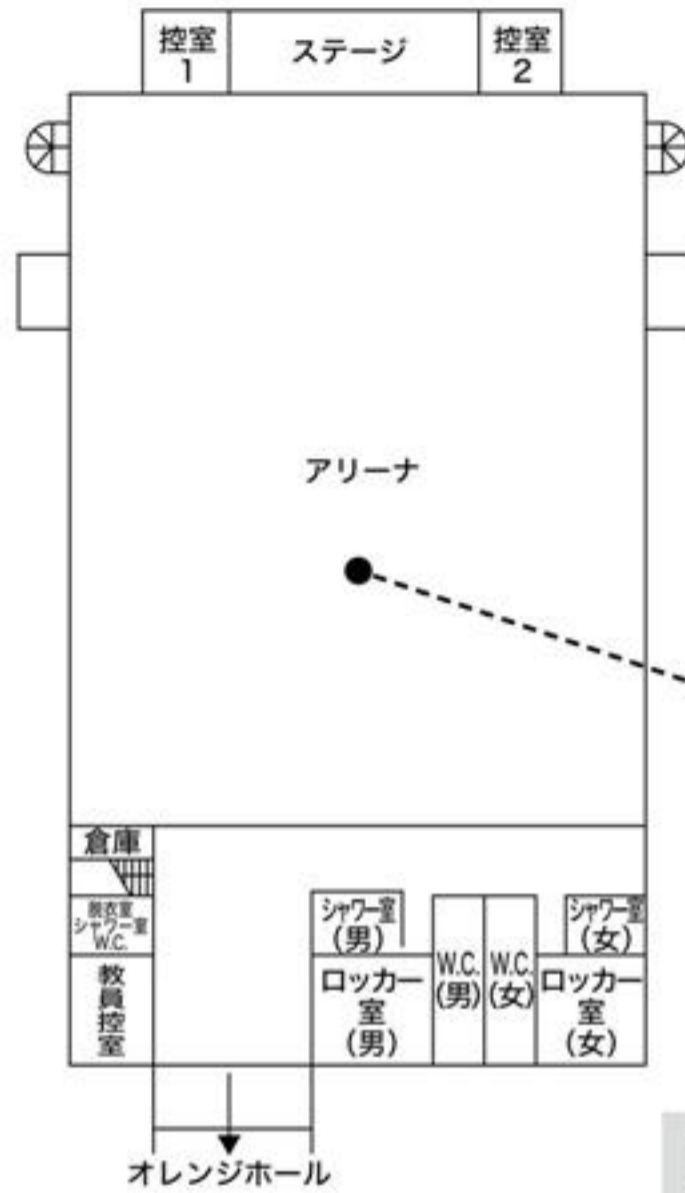
6月13日
午前 第10分科会
午後 第13分科会

4階



パーム館

1階

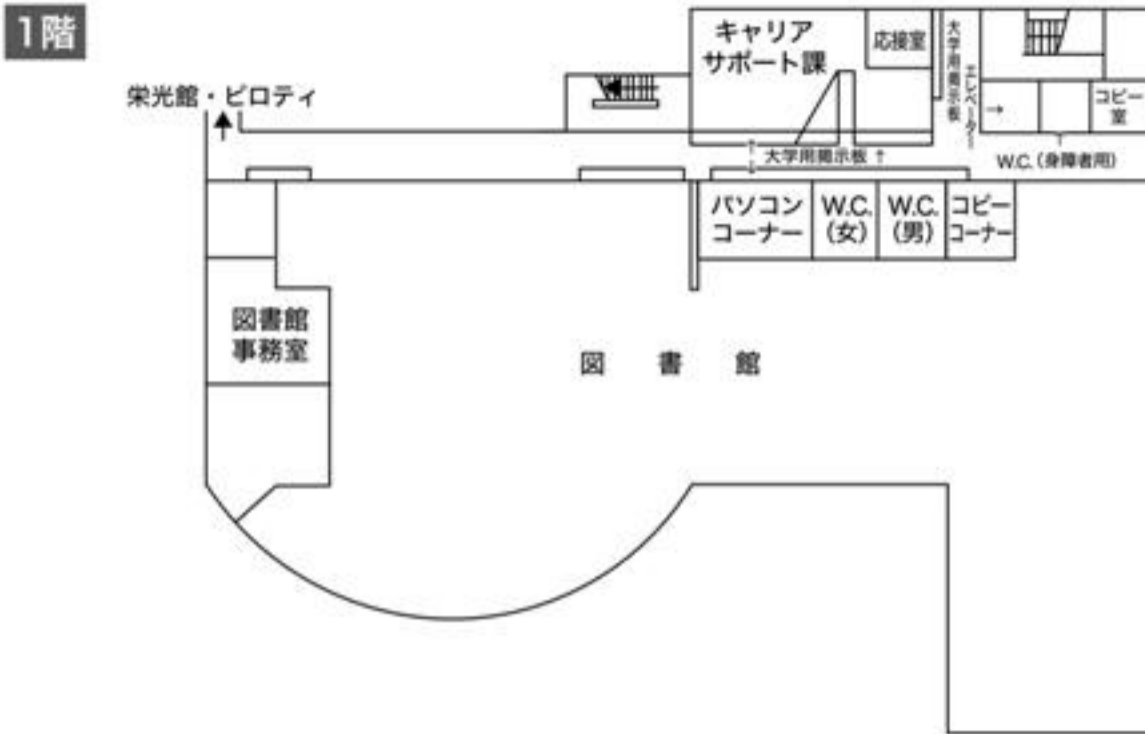


- ・開会式
- ・地域福祉優秀実践賞授賞式
- ・基調講演
- ・大会シンポジウム
- ・情報交流会

オレンジホール



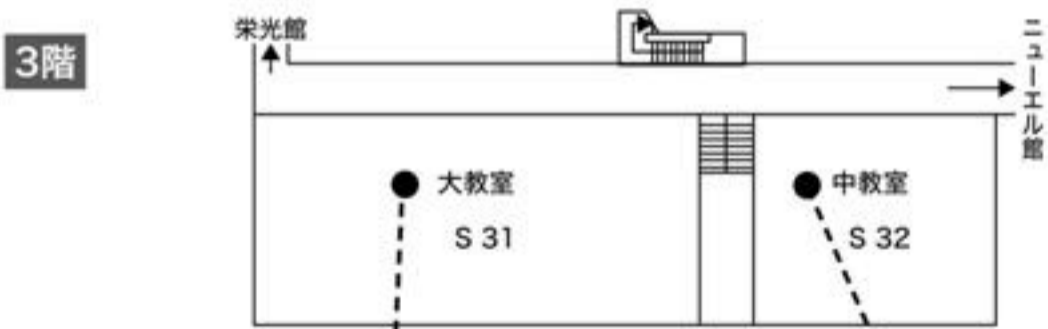
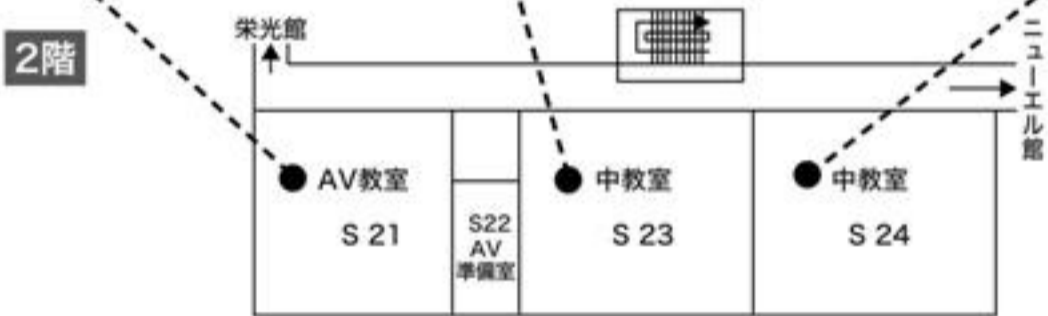
新発田館



6月13日
午前 第1分科会
午後 第3分科会

6月13日
午前 第4-1分科会 (その1)
午後 第4-2 (その2)

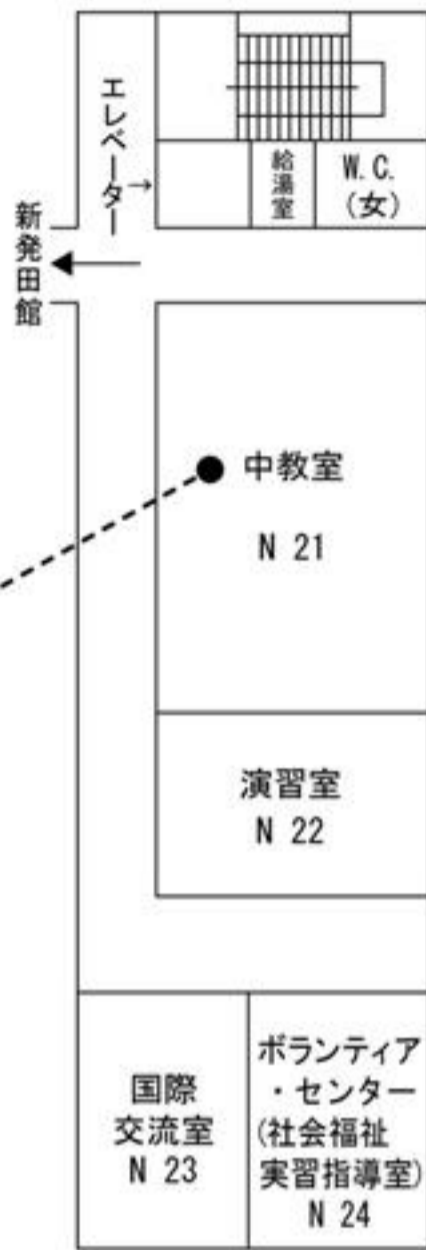
6月13日
午前 学会研究プロジェクト
午後 特別分科会地域福祉実践研究



6月12日
午後 日本地域福祉学会総会
6月13日
午前 地域福祉優秀実践賞報告
午後 新潟シンポジウム
閉会式

6月13日
午前 第5-1分科会 (その1)
午後 第5-2分科会 (その2)

ニューエル館



(2階)

6月13日
午前 第11-1分科会 (その1)
午後 第11-2分科会 (その2)



(3階)

6月13日
お昼
全光玄・韓国地域社会福祉学会会長と語る会

6月13日
午前/午後
ポスター発表

日本地域福祉学会第24回新潟大会実行委員会

大会長	鈴木 佳秀 (敬和学園大学長)
実行委員長	土橋 敏孝 (新潟青陵大学教授)
運営委員	丸田 秋男 (新潟医療福祉大学教授)
	高橋 英樹 (新潟県障害福祉課参事、前新潟大学)
	山田 耕太 (敬和学園大学教授)
	大口 弘人 (新潟県社会福祉協議会事務局長)
	仁多見 浩 (新潟市社会福祉協議会事務局長)
	高橋 修衛 (新発田市社会福祉協議会事務局長 2010年4月1日より)
	川崎 俊二 (新発田市社会福祉協議会事務局長 2010年3月31日まで)
	高橋 俊二 (聖籠町社会福祉協議会事務局長)
	羽田野英治 (胎内市社会福祉協議会事務局長)

実行委員	横堀 直樹 (新潟県社会福祉協議会)
	小池 由佳 (新潟県立大学)
	野瀬 清一 (燕市社会福祉協議会)
	吉藤 則彦 (燕市社会福祉協議会)
	佐藤めぐみ (燕市社会福祉協議会)
	川上 修史 (新潟市社会福祉協議会)
	井上 基之 (新潟市社会福祉協議会)
	横尾三代子 (新潟市社会福祉協議会)
	神林 知子 (新潟市社会福祉協議会)
	本間 和也 (長岡市社会福祉協議会)
	関矢 秀幸 (柏崎市社会福祉協議会)
	李 在穂 (新潟青陵大学)
	武田 誠一 (新潟青陵大学)
	川瀬 聖志 (新発田市社会福祉協議会)
	岩名 浩伸 (新発田市社会福祉協議会)
	富澤 佳恵 (新潟NPO協会)
	豊田 保 (新潟医療福祉大学)
	寺田貴美代 (新潟医療福祉大学)
	圓山 里子 (新潟医療福祉大学)
	河野 聖夫 (新潟医療福祉大学)
	緋瀬 由紀 (胎内市社会福祉協議会)

事務局長	趙 昭衍 (敬和学園大学)
事務局次長	渡邊 豊 (新潟県社会福祉協議会)
"	渡邊 敏文 (新潟医療福祉大学)
事務局	青木 茂 (新潟市社会福祉協議会)
	斉藤 徹 (新発田市社会福祉協議会)
	荒井 武士 (聖籠町社会福祉協議会)
	青山 良子 (敬和学園大学)
	山崎ハコネ (敬和学園大学)
	安井 豊子 (敬和学園大学)
	池田しのぶ (敬和学園大学ボランティアセンター)